

(平成30年 1月分)

種 類	市況の概況
(水産物部の動向) 水産物全般	<p>1月は、寒波の影響により漁獲量が減少したことから、水産物の総入荷量は、前年同月と比べ、鮮魚、冷凍魚、加工水産物ともに総じて減少し、全体で9%下回った。</p> <p>総取扱金額は、前年同月と比べ、鮮魚、冷凍魚、加工水産物ともに総じて減少し、全体として9%下回った。</p> <p>2月は、雪や雨など荒れた天候が続くと予報されていることから、天然魚の入荷が不安定になる可能性があるが、まだいやふぐなどの養殖魚については安定した入荷が続くと見込まれる。</p>
(区分別の動向) 鮮 魚	<p>1月の鮮魚の入荷量は、前年同月と比べ6%下回り、単価は前年並みであった。</p> <p>品目別には、まだい(養殖)、さけの入荷量は上回り、単価は下回った。ぶり、まいわしの入荷量は下回り、単価は上回った。</p> <p>2月は、しらうお、いいだこなどの春を告げる魚の入荷が、徐々に増えてくる。</p> <p>3月3日は、桃の節句「雛祭り」となる。雛祭りには、はまぐりのお吸い物(うしお汁)が縁起物として食されるが、はまぐりは2月～3月に旬を迎えることから、雛祭り以外の日でも、焼き物や煮物などの他の調理方法でも召し上がっていただきたい。</p>
冷 凍 魚	<p>1月の冷凍魚の入荷量は、前年同月と比べ15%下回り、単価は3%上回った。</p> <p>品目別には、冷さけ、冷えびは単価が上回ったことから、国内需要が低下し、入荷量は下回った。</p> <p>本年に入ってから概ね円高傾向が続いているため、輸入物を中心に値下がりすることが期待される。また、うなぎの稚魚の漁獲不振の影響で、冷凍うなぎ加工品が値上がりしている。</p>

加工水産物	<p>1月の加工水産物の入荷量は、前年同月と比べ12%下回り、単価は5%上回った。</p> <p>品目別には、開干あじ、ゆで丸かきの入荷量は上回り、単価は下回った。ちりめんは入荷量が下回り、単価は上回った。</p> <p>2月は、兵庫産のゆでほたるいかがが徐々に入荷し、3月からは富山湾のほたるいかが漁が始まり、店頭にたくさん並び始める。</p> <p>3月は、ちりめんの原料となるしらすの春漁が始まるが、昨年の秋漁が不漁だったことから、今回の春漁に期待したい。</p>
-------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

※鮮魚には、貝類、淡水魚を含む。

品 目	市 況 の 概 要
(鮮魚主要品目)	
ま あ じ	長崎, 鹿児島で水揚げされたものが主体となる入荷で, 入荷量は前年同月と比べ18%下回り, 単価は14%上回った。
ま い わ し	三重, 愛知で水揚げされたものが主体となる入荷で, 入荷量は前年同月と比べ23%下回り, 単価は27%上回った。
さ ば	千葉で水揚げされたものが主体となる入荷で, 入荷量は前年同月並みであったが, 中小型物が中心の入荷だったことから, 単価は12%下回った。
す る め い か	富山, 長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で, 入荷量は前年同月と比べ271%上回り, 単価は20%下回った。
太 物	入荷量は前年同月と比べ7%下回ったが, 良品物の入荷が減少したことから, 単価は6%下回った。
よ こ わ	長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で, 入荷量は前年同月と比べ25%下回り, 単価は3%上回った。
ぶ り	鹿児島, 長崎で水揚げされたものが主体となる入荷で, 入荷量は前年同月と比べ18%下回り, 単価は7%上回った。

(冷凍魚主要品目)	
冷 さ ば	入荷量は前年同月と比べ5%上回り、国内外で大型物が少なく値上がりしたことから、単価は前年並みであった。
冷 する め い か	入荷量は前年同月と比べ22%上回り、単価は19%下回った。
(加工水産物主要品目)	
塩 さ け	入荷量は前年同月と比べ15%下回り、単価は11%上回った。
す け そ う こ	入荷量は前年同月と比べ3%下回ったが、形の良い大型物が減少したため、単価は11%下回った。